

履修学年	2 学年	学科・コース	普通科・理数科	単位数	1 単位
教科書	現代高校保健体育 (大修館)	授業形態	各クラス単位		
担当者	伊藤 烈、渡會 雅明				

1. 学習の目標	2. 学習の進め方・留意点	3. 評価の観点・函中コンピテンシー			
①個人及び社会生活における健康、安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 ②健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 ③生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	<進め方> ①教科書と関連資料に基づき、健康の保持・増進に関わる基礎的な知識を身につける。 ②社会や地域、および人々の実態との関連を把握し、自ら学び自ら考える力を養う。 ③単元により、意見発表やグループ討論などの言語活動を通して関心や理解を深める。 <留意点> ①自己の心身の健康について関心を深め、主体的に学習活動に参加する。 ②他者との意見交換や話し合いを積極的に行い、健康課題に対する思考・判断力を深める。 ③健康や環境に関する問題を、現代社会との関連性のなかでとらえ考察する。		知識・技能	思考・判断表現	主体的な態度
		傾聴力		○	
		思考力	○	○	○
		協働力	○	○	○
		先見力		○	○
	おもな評価の場面	定期考査	定期考査 授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート	

4. 評価・評定	5段階で評価します。 ・1・2年生・・・前期末考査後に「評価」、学年末に1年間の「評定」がつきます。 *評定が1の場合、単位の修得は認められません。 *観点別評価はA、B、Cの3段階で評価します。																
<table border="1"> <tr> <th>達成度</th> <th>評価・評定</th> </tr> <tr> <td>特に高い程度に達成</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>高い程度に達成</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>おおむね達成</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>やや不十分</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>不十分</td> <td>1</td> </tr> </table>	達成度	評価・評定	特に高い程度に達成	5	高い程度に達成	4	おおむね達成	3	やや不十分	2	不十分	1					
達成度	評価・評定																
特に高い程度に達成	5																
高い程度に達成	4																
おおむね達成	3																
やや不十分	2																
不十分	1																

5. 授業計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	3-1 ライフステージと健康 3-2 思春期と健康	2	・各ライフステージにおける健康課題とその支援について理解することができる。 ・思春期の体の変化や心の健康課題について理解することができる。	・各ライフステージにおける健康課題、および思春期の心の発達に関わって起こる問題についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	・単元に関わる課題や現状に対して関心を持ち、自他の健康の保持増進や環境づくりを目指し、学習に主体的に取り組もうとしている。
5	3-3 性意識と性行動の選択	2	・性意識の男女差とそれによって発生する問題、および性に関する情報と性行動の選択について理解することができる。	・性意識の男女差、ジェンダー(LGBTQ)、性に関する情報が性行動の選択に及ぼす影響等についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	〃
6	3-4 妊娠・出産と健康 3-5 避妊法と人工妊娠中絶	3	・受精・妊娠・出産の過程、母子保健サービスの活用について理解することができる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解することができる。	・母子保健サービスの活用、および避妊法の問題点、人工妊娠中絶の現状等についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	〃
7	3-6 結婚生活と健康	2	・結婚の基盤となる心身の発達、必要な考え方や行動について理解することができる。	・結婚生活に必要な考え方や行動、法的制度等についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	〃

8	3-7 中高年期と健康	2	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による変化が健康に及ぼす影響、高齢者の健康を支える社会的な取り組みの内容について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の抱える現状や高齢者の健康を支える社会的な取り組みについての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 	〃
9	4-7 保健サービスとその活用 4-8 医療サービスとその活用	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割、保健サービスの活用の具体的内容について理解することができる。 ・医療保険のしくみの内容、医療機関の役割と医療サービスの活用について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健サービスがどのようにわれわれの生活に関わっているか、および医療サービスを活用する際にあたっての課題を発見し、合理的な解決に課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 	〃
10	4-9 医薬品の制度とその活用 4-10 さまざまな保健活動や社会的対策	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の種類と正しい使用法、医薬品の副作用と薬害、および安全性を守る取り組みについて理解することができる。 ・健康を支える保健活動の内容、行政機関による社会的対策について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の副作用と薬害について、および健康を支えるために実施されている行政機関による社会的対策の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 	〃
11	4-1 大気汚染と健康 4-2 水質汚濁、土壌汚染と健康	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因とそれが健康に及ぼす影響、および地球規模の環境問題について理解することができる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とそれが健康に及ぼす影響、および大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の環境問題についての現状と対策、および現在取り上げられている環境問題についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 	〃
12	4-3 環境と健康にかかわる対策 4-4 ごみの処理と上下水道の整備	2	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法、産業廃棄物の処理の実際について理解することができる。 ・ゴミ処理の現状や課題、および上下水道のしくみと健康にかかわる課題について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会を構築するために必要とされることや課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 	〃
1	4-5 食品の安全 4-6 食品衛生にかかわる活動	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性と健康の関わり、食品の安全性に関する今日的課題について理解することができる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割、および個人の役割について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割、および個人の役割についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 	〃
2	3-8 働くことと健康 3-9 労働災害と健康	3	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことと健康の関わり、働き方の変化とそれが健康問題に与える影響について理解することができる。 ・労働災害の種類とその要因について、および労働災害を防止するために必要なことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことと健康の関わり、働き方の変化によって実際に起こっている健康影響・健康問題についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 	〃
3	3-10 健康的な職業生活	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職場がおこなう健康に関する取り組み、仕事と生活の調和に必要なことについて理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な職業生活を送るうえで必要な健康増進活動や余暇の確保についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 	〃
		27			